

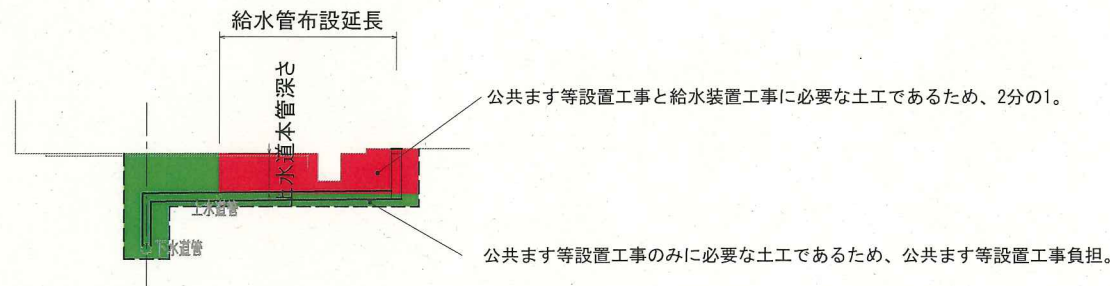
給水設置工事と同時施工の場合の費用負担について（基準第5条）

給水設置工事と同時施工の場合の費用負担について（基準第5条）

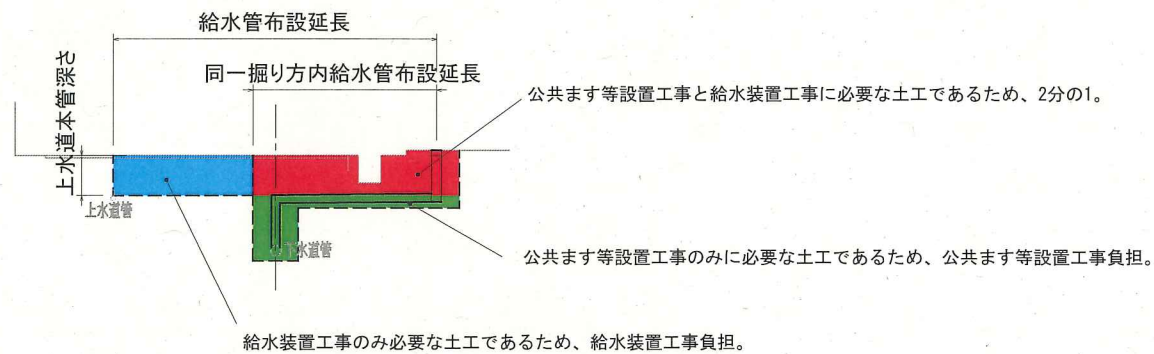
(1) 土工費用について

① 給水装置工事に必要な土工は2分の1とする。

例1 (公共ます等設置工事同一施工範囲内に水道本管がある場合)



例2 (公共ます等設置工事同一施工範囲内に水道本管がない場合)



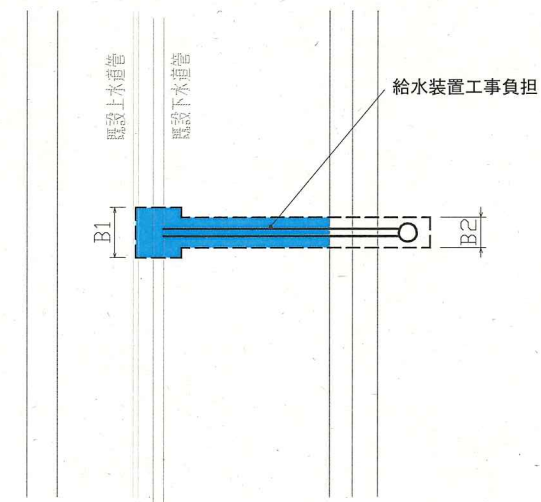
(2) 舗装復旧費用について

考え方

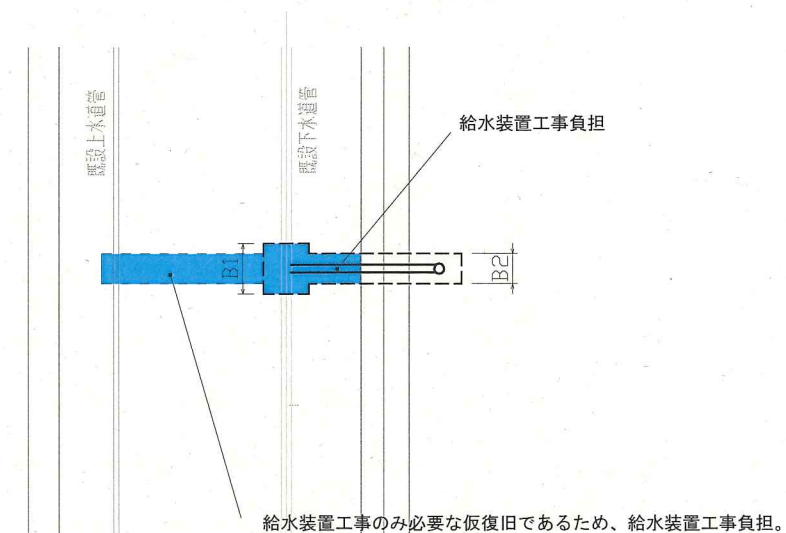
舗装本復旧は申請業者から外注となるため、見積り額に大きく影響する。来年度から、舗装業者に単価契約をし舗装工事と公共ます等設置工事を切り離し、施工する。しかし、その事から舗装本復旧を費用按分することが困難になるため、仮復旧はすべて給水装置工事(申請者)の負担とし、本復旧は公共ます等設置工事(町)が負担する。

① 公共ます等設置工事に必要な仮復旧は、全て申請者の負担とする。

例1 (公共ます等設置工事と給水装置工事の施工範囲が同一である場合)

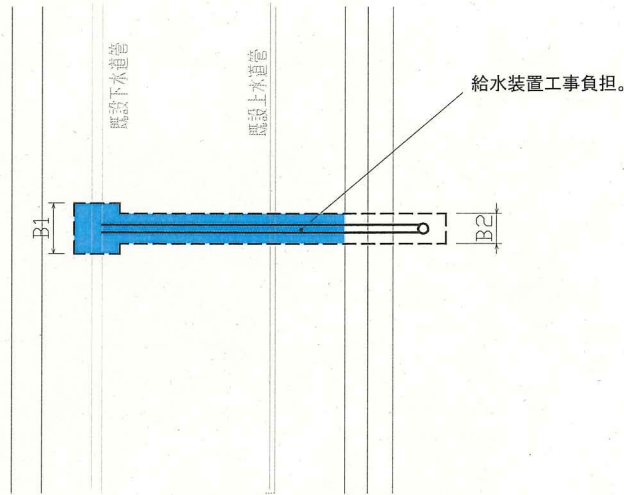


例2 (公共ます等設置工事と給水装置工事の施工範囲が同一でない場合)
※ 給水装置工事単独の施行範囲がある場合



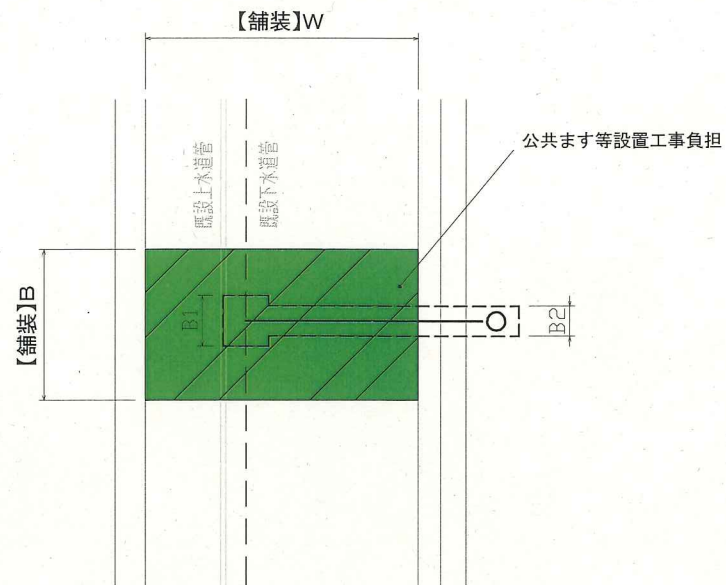
給水設置工事と同時施工の場合の費用負担について（基準第5条）

例3 （公共ます等設置工事と給水装置工事の施工範囲が同一でない場合）
 ※ 公共ます等設置工事単独の施行範囲がある場合



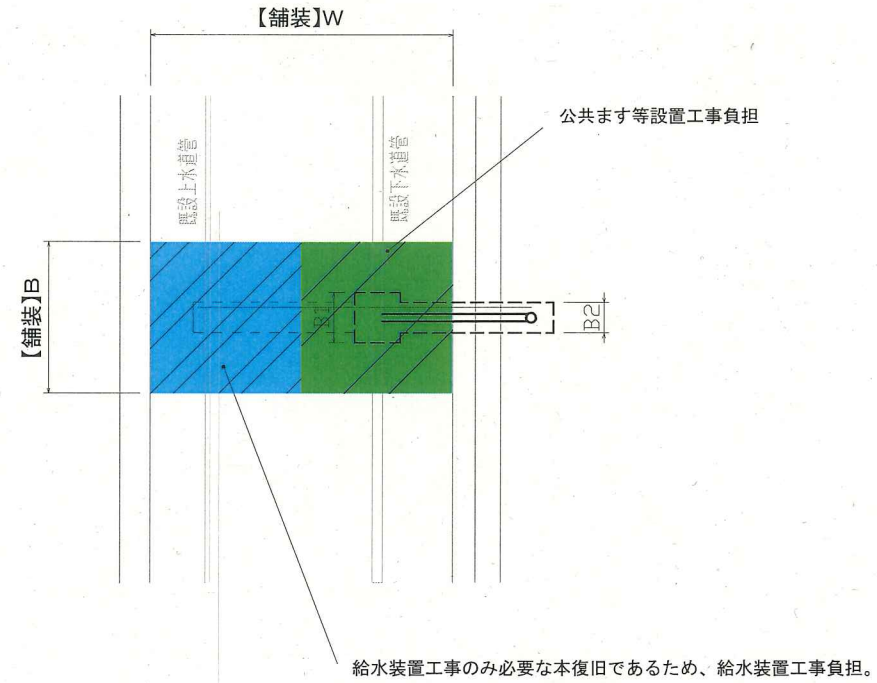
② 公共ます等設置工事に必要な本復旧は、全て町の負担とする。

例1 （公共ます等設置工事と給水装置工事の施工範囲が同一である場合）



給水設置工事と同時施工の場合の費用負担について（基準第5条）

例2 （公共ます等設置工事と給水装置工事の施工範囲が同一でない場合）
 ※ 給水装置工事単独の施行範囲がある場合



例3 （公共ます等設置工事と給水装置工事の施工範囲が同一でない場合）
 ※ 公共ます等設置工事単独の施行範囲がある場合

